

全 宗 協

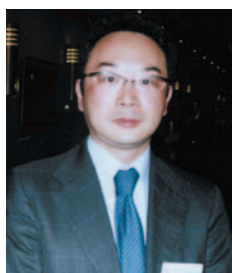
Z E N S H U K Y O

始動しました!!全宗協ニューリーダー部

10月18日、奈良市で創立総会を開催 「新風」に期待。初代部長に吉田光宏氏を選出

いよいよ始動!ニューリーダー部——全宗協ニューリーダー部の創立総会が10月18日、奈良市の「ホテル日航奈良」で秋の全国研修会に併せて開催され、若い人たちの力を結集した活動がスタートした。

創立総会時点までに同部に加わった人たちは47人。初代部長には吉田光宏氏(京都市の(株)吉田治市商店代表取締役社長)が選出された。副部長、幹事、監事も決まった。低迷気味の業界にどのような「新風」を吹き込んでくれるだろうか。期待は大きい。



初代部長に選出された吉田光宏氏



創立総会を見守るニューリーダー部に加入した人たち

創立総会にはニューリーダー部に加入した47人のうち28人が出席した。この28人と全国研修会に参加した人たちを合わせた102人が総会を見守った。

ニューリーダー部設立は全宗協の中で長く構想されてきたが、平成17年4月に政策提言委員が答申したことで大きく踏み出した。組合内に設立準備委員会が設けられ、入会できる年齢などを定めた規約の煮詰め作業を行い、規約の素案は6月22日に京都で開催された親会(全宗協)の役員会で了承された。これと併せ、入会者による高野山での合宿研修を8月28日と29日に行い、

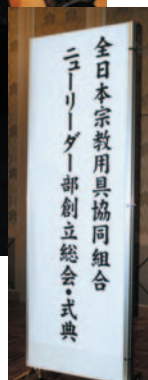
何を部の事業の核にするかグループ討議した。

部の事業について、規約は次の5つをあげている。

- ① 組合(親会)の事業に対する協力及び意見具申
 - ② 業界の向上、及びそれを通じて国家の向上に寄与する事業
 - ③ 経営・技術等の向上を図るための各種講習会・研修会の開催
 - ④ 会員相互の親睦を図るための会合の開催
 - ⑤ その他必要と認める事業
- ニューリーダー部が何を事業の柱とするかは、創立総会までの話し合いで最も論議された。その結果、「部の存在を



ニューリーダー部の創立総会



示すためには、親会への意見具申といったものをトップに位置づけるべきだ」という考えが大勢を占め、前記のような事業の順番となった。

ニューリーダー部の構成は、「正部員」と「協力部員」の2つから成っている。「正部員」

紙面から

2面	ニューリーダー部
3面	秋の全国研修会
4面	「こんな仏壇あったらいいな」 コンテスト2008と全国研修会
5面	NL交差点 全国おぶつだん俳句コンテスト
6面	第4回仏事コーディネーター試験
7面	そよ風
8面	事務局からのお知らせ

8月28・29日の高野山での合宿研修会ではグループ討議も行われ、活発な意見が交わされた。



安田理事長は挨拶で、ニューリーダー部の活動に強い期待を寄せた

は、全宗協組合員、又は組合員事業所の後継者で、加入できる年齢は満45歳未満。「協力部員」は、全宗協組合員、又は組合員の従事する事業所に勤務する者で、加入できる年齢は満60歳未満。年会費は部員が1万円、協力部員は5000円となっている。

つた吉田光宏氏は、「10年先はこうであるという科学的予測だけに身をまかせず、常にどうあらねばならないかを思索しながら、業界の未来を明るくしたい」と決意を述べた。また安田理事長は挨拶で、「全宗協が創立されて20周年という節目の今年、こうした新しい部が活動を始めることになったのは誠に喜ばしい限りだ。今、業界には問題が山積している。これに光を当てていくのは若い人たちの力

創立総会で選出された役員

○部長＝吉田光宏〔株〕吉田治市商店〕 ○副部長＝川本恭央〔有〕川本商店〕・浅野秀浩〔株〕お仏壇のやまぎ〕 ○幹事＝小森隆司〔株〕こもりコーポレーション〕・廣川俊輔〔有〕廣川仏壇店〕・宮川知子〔株〕永樂屋〕・中田宗克〔株〕梅栄堂〕 ○監事＝前田英児〔株〕日本堂佛具店〕・山本浩章〔株〕ひょうま〕



選出された役員が壇上に並んで挨拶

だ」と強い期待を寄せた。ニューリーダー部では12月4日に役員会を開き、来年から実施に移す具体的な事業について意見を交わした。なお、部員は、創立総会後に2人が入会し、11月末現在49人となっている。

業界のより明るい未来を目指して

ニューリーダー部長 吉田光宏氏の挨拶



部長就任にあたって挨拶する吉田光宏氏

ニューリーダー部の初代部長を務めさせていただくことになりました吉田です。よろしくお願い申し上げます。今日こうしてニューリーダー部がスタートできましたのも、皆様のお陰と深く感謝を申し上げます。先程部長に選任された身は引締めまる思いを感じています。浅学非才の身ではありますが、ニューリーダー部が設立された意義というものを今一度よく考え、そしてニューリーダー部が果たすべき役割をしっかりと果たしていくことに奮闘努力する所存です。

では、ニューリーダー部の果たすべき役割とは何か。私なりに考えてみました。ある哲学者の言葉に、次のような節があります。

「人間の未来にとって最も重要なことは、10年先はこう成る、という人類の意思とは無関係な科学的未来予測ではない

く、10年先はこう在らねばならない、と人間の主體的な意志によって決断された哲学的理念であるはずである。人間は、科学的未来予測に身をまかせ、それに従って生きるのではなく、常に、本当はどう在らねばならないか、と思索しながら、哲学的理念に向かって生きるのだから、

この「人間の未来にとって最も重要なことは」という部分は、「私たちの業界にとって最も重要なことは」という言葉に置き換えることができるのではないのでしょうか。

本日発足したニューリーダー部は、10年先、あるいは20年先の未来を考え、真剣に思索し、そして行動し、業界の未来をより明るいものにしていく。そのような役割があるのではないかと思います。

私たちはその役割に向かって一所懸命に努力をしていきたいと思えます。今後とも親会（全宗協）をはじめ皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

初秋の奈良市で秋の全国研修会

パネルディスカッションや法隆寺見学

秋の全国研修会は10月18日、19日の2日にわたり奈良市の「ホテル日航奈良」を主会場に開かれ、102人が参加した。

研修会に先立ち、ニューリーダー部の創立総会があった。

終わって西春貞男専務と森正理事から、来年2月に全宗協が主催して開催する『こんな仏壇あったらいいなコンテスト2008』と、BBI(仏壇文化研究所)に代わって全宗協が来年から主催することになった『全国おぶつだん俳句コンテスト』について説明があった。

この後、講演会があり、(株)商業開発研究所代表取締役の大東行人氏が「経営体質強化



雨の中、五重塔を見学する研修会参加者



説明にあたってくれた法隆寺の古谷正覚執事長

の5つの課題」と題して講演。そのあと「業界の危機」をテーマにしたパネルディスカッションがあった。終わって懇親会。

翌19日は各委員会に続き、借り上げバスで法隆寺に向かい、執事長の古谷正覚師の説明で、世界最古の木造建築として世界遺産ともなっている五重塔や夢殿など諸伽藍を見て回った。あいにくの雨となつてしまつたが、伽藍の威風は圧巻だつた。

※ ※ ※

研修会初日にあつた大東行人氏の講演とパネルディスカッションは、インパクトのあるものだつた。



パネラーとコーディネーター5人が壇上に並んで

パネラーを務められた方々



吉田光宏氏

加茂定治氏

小仲正克氏

鳥居邦夫氏

「質疑応答の時間が30分はほしい」

事務局では今回の全国研修会でアンケート調査を実施し、組合員の意向を探った。

大東氏の講演は、「期待通りであつた」が11人、「期待はずれだつた」が16人だつた。パネルディスカッションについては、「参考になつた」23人、「参考にならなかつた」5人、法隆寺見学は「有意義であつた」18人、「あまりよくなかつた」1人。

講演については、「当たり障りのない一般論。具体的事例がほしかつた」という意見もあつた。パネルディスカッションについては、「ローソク、線香だけでは全員が乗れなかつた。仏壇仏事もほしかつた」という意見や、「質疑応答の時間が30分はほしい」といった意見もあつた。

今後取り上げてほしいテーマとしては、「仏壇以外の伝統産業の再生例」「日本文化の継承と業界再生」「人材活用」「小売店での営業方法」などをあげた人が多かつた。

大東氏は、伝統的な手法では伝統産業の将来はないとして、不断の革新努力を訴えた。その上で、自店の強みと弱みを認識し、店内情報の共有化や市場のデータベース化を進め、営業面では質重視の販売戦略をたて、また、高齢者支援活動など地域活動にも積極的に参加すべきだと話した。

パネルディスカッションは、鳥居邦夫(全日本ローソク工業会会長)、小仲正克(株)日本香堂代表取締役社長)、加茂定治(加茂定佛壇店)、吉田光宏(ニューリーダー部部長)の4氏がパネラー(コーディネーター)は(株)宗教工芸社代表取締役社長・住田孝太郎氏)となり、ローソクと線香の「いま」と業界活性化の道を探った。



2日目の委員会は、どの委員会もかつてないほど盛り上がつた

れもあってローソク業界は苦しい時期になっている」などと語った。業界現場の「生々しい話」に誰もが耳をそばだてるようにして聞き入った。

2日目の各委員会は参加者がかかってないほど多く大変な

盛り上がりだった。参加者は一般組合員が55人にのぼり、各委員を含めると91人が論議を交わした。

総務委員会ではニューリリーダ1部の位置づけと今後の連携、会報の充実、事業委員会

では仏事コーディネート資格制度、「こんな仏壇あったらいいなコンテスト2008」、海外研修について、正常化委員会では、不当表示の現況と対応事例、二重価格と誇大・不当表示、独禁法改正の動き、

商取引正常化に向けての取り組み、また会員増強委員会では、業界危機の現状認識、組合の使命と会員増強の必要性、加入促進策、広報委員会では、第一回『全国おぶつだん俳句コンテスト』、インターネット

による広報活動、仏事コーディネートなどのPRなどが話し合われた。

中でも正常化委員会には多くの組合員が参加し、盛り上がった。

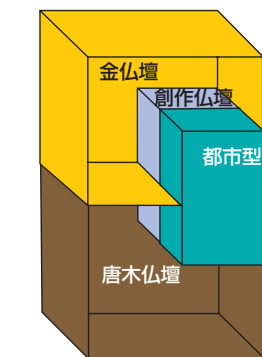
『こんな仏壇あったらいいなコンテスト2008』

新春2月13、14日。春の全国研修会も併せて開催

消費者に視点を置いた全宗協の一大イベント

全宗協が主催して来年2月13、14日の両日、「東京国際フォーラム」(千代田区丸の内)で開かれる第1回『こんな仏壇あったらいいなコンテスト2008』が2カ月後に迫った。全宗協のコンテスト実行委員会(小堀賢一委員長)では、

BBI(仏壇文化研究所)の主催で開かれたが、今回から全宗協の主催となった。経済産業省と全国中小企業団体中央会が後援する。中小企業庁からは補助金も交付される予定。



実行委員会がつくった概念図

出品できるのは、「金仏壇」「唐木仏壇」「都市型仏壇」「創作仏壇」の4部門。おおむね1年以内に製作された未発表の

作品。1企業(個人)当たり出品本数は何本でもよい。出品料は1本につき5万円。優秀仏壇には「こんな仏壇あったらいいな金賞」「全国中央会長賞」「全国仏壇店賞」などが

贈られる。審査には消費者にも投票の形で加わってもらう。コンテストは全宗協の一大イベント。小堀実行委員会委員長は、「伝統や文化に根ざしたもののづくりの素晴らしさをアピールし、需要の喚起を図るとともに、業界内の創造性向上と活性化を目指していきます。ぜひ出品していただき、

お仏壇のバラエティの豊かさも消費者の皆さんに知っていただければと思っています。コンテストは何としても成功させたい」と話している。なお、春の全国研修会は2

月13日にコンテストと併せ、同じ会場で行われる。講師には養老孟司氏を招き、『今こそこころの時代—現代人の脳に映る宗教—』と題した講演を予定している。

このコンテストは一昨年、

出品本数100本を目標に各地の仏壇関係の組合やメーカーなどに出品要請を続けてきているが、11月末現在で74本の出品が決定し、目標の100本まであとわずかのところ

きた。

お仏壇のバラエティの豊かさも消費者の皆さんに知っていただければと思っています。コンテストは何としても成功させたい」と話している。なお、春の全国研修会は2

月13日にコンテストと併せ、同じ会場で行われる。講師には養老孟司氏を招き、『今こそこころの時代—現代人の脳に映る宗教—』と題した講演を予定している。

	作りの違い(製作工程)	コンテスト出品の形状例
金仏壇	木工 木彫 漆塗り 金箔押し 蒔絵 彩色 鍍金具	従来型のもの
	木工 木彫 塗装 表具 金具	従来型のもの
都市型仏壇	金仏壇の製造工程	金仏壇の製作工程を基本にして製作された新しいデザインのもの
	唐木仏壇の製造工程	唐木仏壇の製作工程を基本にして製作された新しいデザインのもの
	その他のもの	新しい材料や従来になかった製作工程で製作された新しいデザインのもの
創作仏壇	金仏壇の製造工程	金仏壇の製作工程を基本にして製作されデザイン以外にも新規性のあるもの
	唐木仏壇の製造工程	唐木仏壇の製作工程を基本にして製作されデザイン以外にも新規性のあるもの
	その他のもの	新しい材料や従来になかった製作工程で製作されデザイン以外にも新規性のあるもの

交差点 奈良の地に思う

全宗協ニユリーダ―部部长 吉田光宏

この度、全宗協の研修会が奈良の地にて開催されましたが、ここ奈良は日本仏教の発祥の地であり、様々な仏教美術の宝庫であります。

日本書記によると欽明天皇13年、百濟の聖明王から経論と幡蓋、それに金銅の釈迦像一体が送られてきたとあり、これを仏教の伝来としています。そのとき天皇は「仏の相貌、端嚴し」と言われ、「歡喜び踊躍りたま」われたそうです。仏教の教義を知ったことに感動されたのはありましようが、仏像を見ての美的衝撃の方が大きかったのではないのでしょうか。このように日本に於ける仏教は、仏教美術と共に伝わったとも言えるでしょう。

言うまでもなく、釈迦の時代には仏教美術は存在しませんでした。しかし、その後、もし仏教美術の造形がなされていなければ、仏教はこのようにアジアの東端の島国まで伝わっていたでしょうか。その高邁で深遠な教義を聞くことだけで、広大な地域の人々がそれを理解し、仏教が伝播していったとは考えにくいものがあります。日本に仏教が伝わった背景には、仏教美術が大きな役割を果たしているはず。そして優れた仏教美術は、その力をもって日本人に仏教を広めていきました。

宗教離れ、仏教離れが進んでいると言われる今日、それは仏教美術の力が衰えたことも理由のひとつにあげられるのではないのでしょうか。私たちが扱う宗教用具が本来持っていた力というものを、今一度考えなければならぬ。奈良の地でそのようなことを想いました。

全宗協が主催し『全国おぶつだん俳句コンテスト』

BB-1に代わり来年からスタート 投句集を発売、各店に引き受けてもらう計画も



第2回コンテストで発行された投句集見本

おぶつだん俳句コンテストはこれまでBB-1（仏壇文化研究所）の主催で開かれてきたが、来年からは全宗協が主催することになった。BB-1主催のコンテストは今年が9回目だった。来年は第1回『全国おぶつだん俳句コンテスト』

となり、新たなスタートを切る。

コンテストの応募作品は毎年2万点前後にのぼっているが、コンテストを主管する全宗協広報委員会（森正委員長）では、「今のところ来年は2月1日に募集を開始し、4月末に締め切る予定にしています。3万点を目標したい」としている。優秀作品には金賞1点（10万円）、銀賞2点（3万円）、佳作5点（1万円）、さらに百名に図書券5000円分をプレゼントする予定。

作品を一冊にまとめた投句集を刊行し、各店に引き受けてもらい、その売上金でコンテスト事業の資金をまかなう計画を立てている。引き受けてもらうのは百冊を一口として、何口でもよい。投句集は一冊百円。一口だと1万円となるが、執行部では「原則として（組合員は）全員参加」としており、各店当たり一口は引き受けてもらい、お客に配布するなどして店のイメージアップ、お客との結びつきの強化などに役立てるツールにしてほしい、としている。



パチリ1枚

沖縄県から全国研修会に初参加
那覇市の照屋漆器店の照屋慎さん



全国研修会会場での照屋慎さん

沖縄県那覇市の照屋漆器店の照屋慎さんが、奈良市での秋の全国研修会に沖縄県から初めて参加した。

照屋慎さんは今年28歳。照屋漆器店の照屋林山社長の長男として、営業と位牌づくりに励む毎日だ。照屋漆器店は今年になって沖縄県から初めて全宗協に新規加入した。全国研修会などの集まりに参加したのも今回が初めてだ。「遠いところ、ようこそ」と研修参加者から次々に声がかけていた。

営業と位牌づくりは駒沢大学卒業後、本格的に取り組んだ。全国研修会への参加は自分の意思で決めた。

「沖縄という狭いところにだけいたので駄目です。全国の皆さんと交流しなければ……。それに目上の方々にお話を聞くことも出来ずし、宗教という大事なものにふれる機会も多いと思いますから、これからも楽しみです」全身から前向きさが溢れていた。

東京・大阪の2会場合わせ199人が挑戦

第4回仏事コーディネーター試験

過去3回の試験で1094人が資格を手



東京・大阪会場とも緊張感いっぱいだった



4回目となる仏事コーディネーター試験が11月14日、東京と大阪で同時に行われた。日本青年館が会場となった東京では88人、新梅田研修センターが会場の大阪では111人、合わせて199人が資格取得を目指して挑戦した。

昨年と同じく試験に先立ち講習があり、東京は全宗協の安田理事長、大阪では全宗協の小堀副理事長らが講師となり、仏事コーディネーターの役割と使命、歴史と宗教の関わりなどについて話した。安田理事長は役割と使命について「日本文化の継承者としての自覚と誇りをもってほしい」としたうえで、「宗教的な習慣を地域文化として次の世代にきちんと伝えるとともに、しき

今回の試験に合格、晴れて資格を手にした皆さん

東京

- 青木省 成田耕一
- 安嶋邦子 丹羽京子
- 足立亮 丹羽誠一
- 荒尾浩 馬場慶子
- 伴田孝 伴田孝
- 久田佳伸 久田佳伸
- 町田知子 町田知子
- 町田守 町田守
- 石田毅 宮崎二郎
- 伊藤光夫 村上雅則
- 伊藤亮 山口貴正
- 岩崎一紘 山下靖子
- 岩橋由美子 山田仁
- 上坂啓子 山宮雅則
- 上野与志光 湯澤良樹
- 大堀宏雄 吉田秀孝
- 小笠原長保 米津信明
- 尾柴範保 渡辺美香
- 小野秀一 渡部安雄
- 加治尚子 亀井崇幸
- 亀井崇幸 亀田聖子
- 木村雅樹 木村雅樹
- 栗城英雄 栗城英雄
- 國府田ひとみ 國府田ひとみ
- 齋藤勝英 齋藤勝英
- 斉藤正一 斉藤正一
- 逆井章智 逆井章智
- 佐藤一洋 佐藤一洋
- 佐山学 佐山学
- 塩野三喜男 塩野三喜男
- 下河原愛 下河原愛
- 白井建 白井建
- 鈴木由美子 鈴木由美子
- 鈴木好江 鈴木好江
- 鈴木祥元 鈴木祥元
- 高橋美由希 高橋美由希
- 手塚夕力子 手塚夕力子
- 土井裕之 土井裕之
- 永田加代子 永田加代子

大阪

- 秋柴弘子 秋柴弘子
- 碓健一 碓健一
- 池田崇秀 池田崇秀
- 石井忍 石井忍
- 石原義則 石原義則
- 伊丹清行 伊丹清行
- 今井和昭 今井和昭
- 今山聖子 今山聖子
- 岩城幸二 岩城幸二
- 岩田嘉貴 岩田嘉貴
- 上田暢 上田暢
- 内田明 内田明
- 大嶋啓太 大嶋啓太
- 大竹和夫 大竹和夫
- 大曲珠美 大曲珠美
- 大宮司 大宮司
- 岡田和寛 岡田和寛
- 岡田健志 岡田健志

- 岡本悦子 岡本悦子
- 廻船智志 廻船智志
- 笠原正紀 笠原正紀
- 加藤俊和 加藤俊和
- 加藤康伸 加藤康伸
- 門田修司 門田修司
- 河合智子 河合智子
- 河原操 河原操
- 上林勝 上林勝
- 菊池求 菊池求
- 木村健一 木村健一
- 桑村美緒 桑村美緒
- 高下薫 高下薫
- 小門宏至 小門宏至
- 小澤勉 小澤勉
- 齋藤基子 齋藤基子
- 佐伯和也 佐伯和也
- 酒榮哲朗 酒榮哲朗
- 坂川信行 坂川信行
- 佐古裕幸 佐古裕幸
- 佐藤大祐 佐藤大祐
- 佐野研悟 佐野研悟
- 下谷紀美代 下谷紀美代
- 白石しのぶ 白石しのぶ
- 進藤廣二 進藤廣二
- 杉田仁美 杉田仁美
- 鈴木みよ子 鈴木みよ子
- 瀬古欣也 瀬古欣也
- 妹尾由紀子 妹尾由紀子
- 多田保雄 多田保雄
- 多々納雄二 多々納雄二
- 田中真理 田中真理
- 谷祐介 谷祐介
- 辻康幸 辻康幸
- 筒井静子 筒井静子
- 中下俊 中下俊
- 中田宗克 中田宗克
- 中田幸子 中田幸子
- 長門一美 長門一美

- 中山正子 中山正子
- 布目健 布目健
- 林建吾 林建吾
- 原勝夫 原勝夫
- 原口茂 原口茂
- 原田直樹 原田直樹
- 深見信之 深見信之
- 福井昭夫 福井昭夫
- 藤田道正 藤田道正
- 藤原浩史 藤原浩史
- 別所清寛 別所清寛
- 北条久則 北条久則
- 細川比佐子 細川比佐子
- 堀居貞夫 堀居貞夫
- 松井健一郎 松井健一郎
- 松井みゆき 松井みゆき
- 松本彰 松本彰
- 南治政 南治政
- 村井政江 村井政江
- 森貞行 森貞行
- 森俊輔 森俊輔
- 森口武治 森口武治
- 森田由希子 森田由希子
- 森田亮子 森田亮子
- 山内一裕 山内一裕
- 山口八千代 山口八千代
- 山田純也 山田純也
- 山田直子 山田直子
- 山本貴久美 山本貴久美
- 山本茂雄 山本茂雄
- 吉岡弘美 吉岡弘美
- 吉田朱美 吉田朱美
- 吉田孝幸 吉田孝幸
- 吉村涼 吉村涼
- 若林伸一 若林伸一
- 渡邊和代 渡邊和代
- 渡邊康弘 渡邊康弘
- 渡邊雄一 渡邊雄一

頑張ってます

東海地区協議会会長 井上芳徳



井上芳徳氏

東海地区では、平成20年5月20日(火)開催の通常総会に向けて、着々と準備を進めています。既に会場及び講演会の講師も決定し、翌日のオプショナル等も含めて、全国各地からの組合さまにご満足いただけるよう、実行委員長の菱田孝行氏を中心に話し合いをしているところです。是非とも、交通が便利で、今、元氣といわれる名古屋の地へ多くの組合員、ご家族のお越しをお待ちしています。

ところで最近では、新型タイプの仏壇仏具がかなり進出しており、各メーカーもこぞってさまざまデザインを研究して、体勢を整えています。これも時代の要求といえましょう。果たしてこの状況が良いのでしょうか。古来からの日本の文化を伝え、せっかく先人達が培った伝統技術を継承していくうえで、安らぎを覚えて心の拠り所としての宗教用具が「何でもあり」ではいささか心配でなりません。あまり近所付き合いもせず、隣は何をする人ぞといった都会ではよく見受けられる現象には無関心ではいられません。かつてない長寿の時代に我々は今、何をなすべきか。先祖や親を大切に想う心が欠落しているような気がします。

学校や家族、会社など自分達が今まで生きてきた中で、の技術や経験を自分だけのものとせず、うまく世の中に伝えていく必要を感じます。勿論、かつての寺子屋のように、ご寺院さまとのかかわりも大切な事だと考えます。

たりや行事についてもきちんとお客様に伝えていってほしい」と述べた。

試験開始直前まで参考書に目を通す人など、会場はいつものようにびんと緊張感いっぱいだった。

試験結果は12月末までに、仏事コーディネーター資格審査協会から受験者に直接通知される。なお昨年までの3回の試験で、1094人が仏事コーディネーターの資格を手に入れている。



東京会場の講師となった
安田理事長



大阪会場で講師に立った
小堀副理事長

そよ風

お仏壇と私

(株)サン・ライフ代表取締役社長 小暮千津子



小暮千津子さん

我が家に初めてお仏壇が入ったのが、今から10年前である。購入理由は単純に新仏が出来たからである。愛する主人との別れがあったからである。恥ずかしい話だが、それまではお仏壇にあまり縁がなかった。そして、その年から私と娘が事業を引き継ぐこととなり、主人の遺志であった仏壇店を始めるきっかけとなったのである。

毎日毎日、本とのにらめっこから始まった。お客様も含め、多くの方から教わりお世話になり、あの無我夢中の当時のこと

を思い出すと、未だに感謝の気持ちで一杯である。ちょうど開業して5年経った頃に仏事コーディネーターの試験があったことは、幸運に(?) また良い勉強の場となった。

何よりも私が今まで頑張ってきたのは、我が家の居間に仏壇があったからこそである。ご先祖や主人に話しかけられる場所があったからだと思う。

毎晩、般若心経を唱え、その日の無事や報告を終えると不思議と落ち着き、穏やかな気持ちとなり、一日が終わるのであり、やは

り、日本人にとって必要な時間だと思ふ。

悲しい話だが、宗教離れ、仏壇離れの昨今、また痛ましい事件も多い。どのような形でもかまわないが、人間であれば神や仏を信じる気持ちを持って欲しいと願う。

願わくば……お仏壇によって深い悲しみから救われた私だからこそ、いかに心の拠り所となる場所であるかを、一人でも多くの人に発信できればと思ふ。

組合員の増強が続いています

発足時の377名までもう一步の363名に!! 会員増強委員会を中心とした獲得運動が奏功

全宗協組合員の増強が続いています。11月末現在での組合員数は363名となりました。全宗協の組合員数は、組合が創立された時には377名を数えていました。その“規模”にあと一步で追いつけそうです。

組合員数は組合創立後、減少傾向が続き、一時は270名まで後退しました。そのため加入手続きの簡素化などに踏み切る一方、会員増強委員会(保志正之委員長)では「創立時点の377名必達」を目標に、全力をあげて組合員獲得運動を続けてきました。その努力が実り増加傾向に転じ、363名に回復しました。

増強傾向は今年に入っても衰えていません。4月から11月までの間に20名弱の皆さんが新規加入されました。この中には、沖縄県からの加入(那覇市の照屋漆器店)もありました。沖縄県からの加入は全宗協では初めてです。(事務局から)

新規加入の皆さん(6月~9月分)

奥山武雄 (株)オクヤマ仏壇店	山形県寒河江市本町2-7-10
佐々木丈巳 (有)遠野葬祭	岩手県遠野市上組町8-10
英 義人 (株)人形のはなふさ	鳥取市湖山町東3-1
和泉昭司 (有)竜泉堂	群馬県太田市石原町972-2
八木嘉奈枝 (有)稲澤佛具店	さいたま市大宮区宮町2-8-1
齊藤正一 常栄商事(株)	茨城県那珂市菅谷2548
大竹和夫 大竹仏壇店	兵庫県淡路市志筑1855-1
藤田正之 (有)新町仏具印判店	鳥取市新町115

事務局からのお知らせ

●ホームページ立ち上げとリンク貼りのお手伝いをします

昨年に引き続き、全宗協ホームページの「加盟店紹介」お店紹介ページ制作を承ります。希望される方は事務局までご連絡下さい。

ご負担額は1ページ当たり10,000円（税別）です。お店紹介ページの内容は①企業名 ②企業紹介文 ③画像（店舗外観や商品、店内の写真など2枚まで）④主な取扱商品⑤営業時間、定休日 ⑥住所、電話番号、FAX番号 ⑦メールアドレスなどです。

なお、すでにホームページをお持ちでリンク貼りの済んでいない方は、無料でおつなぎ致します。

●皆様の投稿をお待ちしています！！

次号から投稿欄をさらに増やします。俳句、短歌、川柳、写真のほか、「わが社の自慢・成功事例」や「地区トピックス」「業界・他業界情報」などお寄せ下さい。

——特許庁に商標登録されました

「仏事コーディネーター」の名称とロゴ



仏事コーディネーター資格審査協会と全宗協とで昨年12月に特許庁に申請していた仏事コーディネーターの名称とロゴが、本年9月7日付で商標登録されました。これにより、資格を持たない者がこれを使用することは禁じられ、仏事コーディネーター資格の地位が一層高まることとなります。

無料法律相談

森顧問弁護士が組合員からの電話あるいはFAXによる無料法律相談に応じます。ご希望の方は下記へ直接ご連絡ください。

森・吉村法律事務所

弁護士 森 恕（はかる）

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋1-5-14

メゾンドール高麗橋605

TEL 06-6222-3700

FAX 06-6232-0200



森 恕顧問弁護士

訃 報

地区	ご逝去	組合員名	ご逝去日	享年
関東甲信	ご母堂もと子様	(有)みす平総本店・前田小夜子	19年6月14日	88歳
北海道・東北	ご祖母かね様	(株)さいとう・齋藤裕之	19年7月6日	98歳
東海	ご本人須美朗様	(株)中埜・中埜須美朗	19年8月12日	70歳
関東甲信	ご母堂きくえ様	(株)宝山堂・遠藤明雄	19年9月6日	93歳
京滋	ご母堂みつゑ様	(株)吉田治市商店・吉田治弘	19年12月4日	96歳

編集後記

▽ニューリーダー部が奈良市での創立総会を機に、始動した。いよいよ活動がスタートしたわけだが、低迷気味の仏壇業界にどんな新風を吹き込んでくれるか。私のみならず期待する業界人は少なくない。「起爆剤」になってほしいという声も聞かれる。

▽「老」「壮」「青」がバランスよく組み合わせられてこそ、とはよく言われる。仏壇仏具業界はこれまで、言うならば「老」の世界だった。そこにやっと「青」が入ったことになる。ニューリーダー部の部員はフレッシュな感覚を持った30代が中心の集まりである。勢いその行動力と感性に期待も大きくなるうというものだ。

▽問題は何を事業の柱とするかだろう。部の規約ではトップに「全宗協（親会）の事業に対する協力及び意見具申」をあげているが、私も大いに賛成だ。親会は今なお「懇親会」的集まりと見られがちである。ニューリーダー部はそうしたあり方に幕を引く存在であってほしい。「時代」は業界活性化のための悠長な時間を決して与えてはくれない。

▽私事になりますが、この12月末で諸般の事情により一線から身を引くことになりました。この7年、会報制作に携わらせていただきましたが、それもこの号が最後となりました。ああもしたかった、こうもしたかったと悔いばかりが残ります。皆様には大変にお世話になりました。紙面をお借りして深く感謝を申し上げます。皆様の益々のご発展を心より祈念致します。

（鎌倉新書・池田）